

## ●堤理事と大村市産業支援センターのご縁はどこから？

**堤**：きっかけはですね、私大村経営者研究会という、経済経営の勉強をするような団体がありまして、63年の歴史があり、正直私が入れるような会じゃないのかなとか思っていたらなんか入っちゃいました。経営者研究会では、月1回の例会に各種著名人もしくは専門家の方をお呼びして勉強会をするんですけど、昨年サンスパの西畑社長が会長してるときに、宮本センター長をその講師で来ていただいたというのが最初の経緯です。そこで宮本センター長が私どもの起業家スピリッツにちょっと火をつけましてね(笑) センター長変わって今どれぐらい？

**宮本**：まだ去年の4月に代わったばかりです。

**堤**：そういうのもあって、代わったばかりでどんな方かなってお話聞いていたら、すごい経緯を持たれている方で。お話を聞く中で、いろんな経営者やそれこそスタートアップ含めてお話を聞いて、本当にいろんな方を知られているなと思いました。

その後に私が去年の9月から経営者研究会の会長を務めるようになり、そこで宮本センター長がお話をされていた、まだ見ぬ競合経営者の方ですね、紹介してお呼びしたいなと思い相談しました。お1人は吉富社長という富の原の咲吉という、最初お味噌作りから麹菌の作りで、ちょっと詳しいことになると難しくなるので言わないですけど、すごい技術を持たれている方で、その事業をどんどん展開しようという話を聞きたいということでお呼びしてお話を聞きました。それで私の起業家スピリッツ火がつけました。

お二人目は、本当失礼ながら私はよく知らなかったんですけど、もちろん経営者研究会のメンバー知っている方いっぱいいらっしゃるんですけど、テノ.ホールディングスという福岡の一部上場の企業で、私と同じ保育園事業が主の池内社長という大大村高校出身の女性起業家の方をお願いしました。池内社長もお呼びしてセミナー開催する話もご相談に乗っていただいて、ご一緒にセミナーを開催しました。大変ありがたく思っておりまして、本当にプロの話聞けるんですね、そういうことで足を運んでいったという経緯でございます。

**MC**：結構いろんな場面で2人はお会いになる機会があるんですか？

**堤**：そうですね、私もお願い事しますし、宮本センター長もこのセミナー宣伝しとって、ってお願いもしますし…。(笑)

**MC**：お互いにですね、WINWINな関係なんですね。

**宮本**：すごくありがたいです(笑)

**堤**：商売の鉄則でございます。

**宮本**：(笑)ありがとうございます。

**MC**：最初の宮本センター長の印象とかいかがでしたか？ 堤さん。

**堤**：そうですね、やっぱり女性の方に失礼ながら、女性だからってわけじゃないですけど、女性で新しいセンター長が来たっていう話になったら、超エリートじゃないですけど、どんな怖い人かなってというイメージで行ったんですけどね(笑) 本当セミナーの定例会でお話していただいて、その後も気さくに、いろいろとこう話し引き受けていただきましたし、吉富社長にセミナーのお願いをしに行くときは川棚まで2人でドライブに行ったんですけど、2人とも方向音痴で、場所間違えて15分遅れて到着するという(笑) お互いちょっと抜けたところがあってちょっと今ほっとしている感じのお付き合いでと言ったら失礼ですけど、話しかけられるようになりました。

**MC**：スタジオの雰囲気はすごく和やかな感じで進んでいるので、見ていて一流の人たちがこうやってお話されているのがいいなっていうふうに思っているんですけど。

**宮本**：いやいやいやいや…、どこが(笑)

**堤**：我々が適当ってね、実は(笑)

**MC**：逆に、センター長はその堤さんにお会いになったときとか何か印象とかありましたか？

**宮本**：大村経営者研究会という研究会の名前が出ましたけれど、本当に大村の中でも重鎮の経営者の皆様で、この会の中で私がお話させていただいていいのだろうか、それこそ逆に私の方がすごく恐縮しまして、しかもプレゼン資料を作る時間も短く、緊張しながらお話をさせていただいたっていう記憶はあります。でもそうやって乗り込んで行ったにも関わらず、皆様すごく気さくな方々でした。経営者としていろんなご経験を積んでおられ、こちらがたくさん学ばせていただく先輩の皆様なんですけれど、すごく気さくでありがたいなって思いました。もうそれに乗っかって、失礼ながら堤さんの方にもこうやってすぐお願い事をすぐ持って行ったりしています。大村に来たばかりの頃だったので、スタートでそういったご縁をいただけたのがすごく良かったなと思っています。

**MC**：それでは、大村市産業支援センターのセンター長に宮本さんがなられたときから、ご一緒ですね。

**宮本**：そうですね、最初の頃だったですね。

**堤**：私はお願いしています(笑)

**宮本**：私もお願いしています(笑)

もう本当に何でも気さくに。今日も本当は保育園事業はこの時期ものすごく忙しいはずですよ。(年度末…) 卒園も近くなるし、にも関わらず今日も二つ返事でOKと言っただきありがとうございます。またDXセミナーも3月に開催しますが、なんとそのフライヤーを200枚も渡してお願いしています(笑)

**堤**：頑張ります。

**MC**：素敵なお2人でございますね。

曲の間も2人で和やかにお話をされていらっしゃいましたけれども、何かお留めするのが憚られるような気がしたんですけど。時間がどんどん過ぎていって足りないでしょう、2人でお話になって…。

**宮本**：足りないですね、意外と早いです。

**堤**：早いですけどね、でも緊張の時間は短い方がいいです私は(笑)

**MC**：どうですか？だまだ話し足りないこんな話したらいいなんてことはありませんか？